

CSDB

Chugoku-Shikoku Defense Bureau

中国四国防衛局広報誌



日米交流事業

「書き初め会

First writing of the year in Waki」



中国四国防衛局

Vd. 67

Mar. 2025



Vol. 67
Mar. 2025

編集・発行
中国四国防衛局
(広報委員会編集)

〒730-0012
広島県広島市中区
上八丁堀6-30

Tel
082-223-7109

中国四国防衛局HP



編集後記
これからも中国四国防衛局の
情報をお届けします！

— 令和6年度日米交流事業 —
書き初め会 First writing of the year in Waki
令和7年1月11日(土)



I W A K U N I 日米交流合同コンサート
令和7年2月1日(土)



目次 Contents

- 2 日米交流事業「新春日米交流書き初め会」(山口県和木町)
- 日米交流事業「日米交流合同コンサート」(山口県岩国市)
- 5 第38回防衛問題セミナー(香川県善通寺市)
- 6 安心・安全共同パトロール(山口県岩国市)
- 7 令和6年度 中国四国防衛局長感謝状贈呈
- 8 須崎(すさき)魚市場落成式(高知県須崎市)
- 9 輸送艦「ようこう」命名式・進水式
令和4年度計画音響測定艦 命名式・進水式
- 10 令和6年度 若手事務官合同研修
- 11 調達部若手職員による活動紹介
- 12 第83回 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会
- 13 令和6年度 中国四国防衛施設地方審議会
- 14 原村演習場における米軍単独訓練の実施
中国四国防衛局 職員日記(津山防衛事務所)
- 15 中国四国防衛局 津山防衛事務所のご紹介

中国四国防衛局 広報チーム
【X(旧Twitter)】
@chushiDB_koho



表紙について
令和7年1月11日(土)
令和6年度日米交流事業
「書き初め会」
First writing of the year in Waki

in Waki

令和7年1月11日、山口県玖珂郡和木町にある和木町立和木小学校において、当局主催の日米交流事業「新春日米交流書き初め会 -First Writing of the year-」を和木町及び米海兵隊岩国航空基地との共催で開催しました。

当日は、田中和木町副町長、ラスノック米海兵隊岩国航空基地司令官をお迎えし、和木町内の児童たちと米海兵隊岩国航空基地スカウティングアメリカ、ガールスカウトの子供たち約30名が参加しました。



書き初め会は書道教室「雅会」と山口県立岩国高等学校坂上分校神楽クラブの皆さんによるコラボパフォーマンスから始まりました。「伝統を繋ぐ」をテーマに書かれる大書と伝統的な神楽の踊りに、参加者は興味津々でした。

その後、参加者は日本の伝統行事である「書き初め」を、イベントの後半では、羽根つき、凧あげ、けん玉やだるま落としなどの日本の伝統的な正月遊びをみんなで楽しみ、最後はお弁当をみんなで一緒に食べ、交流を深めていました。



参加した子供たちからは「楽しかった」、「また参加したい」、「友達ができた」といった感想が寄せられ、大変盛り上がりました。



令和6年度日米交流事業



令和7年2月1日、山口県岩国市にある岩国市民文化会館において、当局主催の日米交流事業「IWAKUNI日米交流合同コンサート」を岩国市、岩国市教育委員会及び米海兵隊岩国航空基地との共催で開催しました。

当日は、守山岩国市教育長、ラスノック米海兵隊岩国航空基地司令官をお迎えし、岩国市立高森小学校、周防大島町立島中小学校、和木町立和木中学校、大竹市立大竹中学校、イワクニ・インターミディエイトスクール、イワクニ・ミドルスクール、M.C.ペリー・ハイスクールの児童生徒約200名が参加しました。

各校がそれぞれこの日のために一生懸命練習してきた合唱や演奏を披露しました。また、本イベントのメインである日米合同の合奏では「名探偵コナンメインテーマ」、「ワシントンポスト」を、合奏・合唱では



「さんぽ～となりのトトロ～」を披露しました。来場者数は、日米合わせて約450名に上り、日米の児童・生徒達の素晴らしい演奏に惜しみない拍手を送っていました。



コンサート終了後、参加児童・生徒達による交流会を行い、日米の絆をより一層深めることができました。

歴史や時代背景に
影響を受けながら
世代を超えて
継承されてきた
伝統文化を
現代に受け継ぐ
二〇二五年已し



IWAKUNI U.S.-Japan Friendship Concert in IWAKUNI 日米交流合同コンサート





第38回 防衛問題セミナー(香川県善通寺市)

令和6年12月19日、香川県善通寺市の善通寺市民会館において、当局主催による防衛問題セミナーを開催しました。

本セミナーは、防衛政策全般に対する国民の皆様の理解促進のための施策として、平成19年から地方防衛局主催で開催しているものです。善通寺市での開催は2回目で、当日は約270名の方々が来場されました。



前統合幕僚長
山崎 幸二



香川県危機管理総局長
石川 恵市

今回は「南海トラフ地震への備え」をテーマとして、第1部では山崎幸二前統合幕僚長より「大規模災害における防衛省・自衛隊の対応」、第2部では石川恵市香川県危機管理総局長より「香川県の防災・減災対策について」を講演していただきました。



本セミナーに来場された方々からは、「自衛隊の活動を今後も応援していきたい」「備えが大事だと改めて感じた」「県の防災対策を知る機会がなかなかないので、対策を知る良い機会になった」など多くの感想が寄せられました。



安心・安全共同パトロール(山口県岩国市)

令和6年12月13日の夜、忘年会や週末を楽しむ人たちが賑わう岩国市の繁華街(川下地区、麻里布地区)において、田實中国四国防衛局長、福田岩国市長、ラスノック米海兵隊岩国航空基地司令官、石川海上自衛隊第31航空群司令、椋谷山口県民局長、地元防犯パトロール隊の方々と合わせた総勢約70名による「安心・安全共同パトロール」を行いました。



麻里布商店街をパトロール

当日はかなり冷え込んでいましたが、参加した皆さんは隊列を組んで「自らの地域は自らが守る」という熱い気持ちで寒さを吹き飛ばし、通行人やお店の中に入って「くらしやすい安心・安全なまちを目指してパトロールしていますよ」と声をかけながら「安心・安全共同パトロール実施中」と書かれたポケットティッシュを配って、市民や米軍関係者へ安心・安全意識の向上を呼びかけました。



声をかけるラスノック司令官



ポケットティッシュを配る田實局長



川下地区のお店にて



ポケットティッシュに
同封したチラシ



【共同パトロールについて】

岩国市に住むすべての人々が、くらしやすい安心・安全なまちづくりを推進するため「自らの地域は自らが守る」という連帯意識のもと、市民と行政と基地関係者が協働して防犯活動を行うこととして平成21年に始まり、今回で14回目となります。



令和6年度 中国四国防衛局長感謝状贈呈



(明岳周作 前江田島市長)

令和6年11月15日、田實中国四国防衛局長は江田島市役所を訪れ、明岳周作市長（当時）に対して局長感謝状を贈呈しました。

明岳市長（当時）におかれては、平成28年12月から令和6年12月の任期満了までの間、8年の長きにわたり、海上自衛隊第一術科学校や切串弾薬庫等、江田島市内に所在する多数の防衛施設の安定的な使用に関して御理解・御協力を頂くとともに、防衛省・自衛隊と住民の皆様の良好な協力関係の構築に尽力されてきたことから、このたび、当局局長より感謝の意を表したものです。

明岳周作 江田島市長（当時）からひとこと

海上自衛隊と江田島市は、お互いに助け合い、共に発展してきました。長年の活動を御評価いただけたこと、大変嬉しく思います。先人たちが紡いできた良好な関係を将来へ引き継ぐべく、今後も地域一丸となって取り組んでいきます。



(吉田直人 松茂町長)

令和6年11月22日、田實中国四国防衛局長は松茂町役場を訪れ、吉田直人町長に対して局長感謝状を贈呈しました。

吉田町長におかれては、就任以来、海上自衛隊徳島航空基地及び陸上自衛隊北徳島分屯地の安定的な使用に関して御理解・御協力を頂くとともに、自衛隊の航空機の時間外運用について、松茂町のホームページで町民に周知するなど、防衛省・自衛隊と住民の皆様の良好な協力関係の確保に尽力されてきたことから、このたび、当局局長より感謝の意を表したものです。

吉田直人 松茂町長からひとこと

このたびは栄誉ある中国四国防衛局長感謝状を頂戴し、大変光栄に思います。自衛隊の活動への理解がより深まるよう、これからも防災対策など様々な面で連携を図っていきたいと思います。



須崎(すさき)魚市場落成式(高知県須崎市)

令和7年1月26日、高知県須崎市で須崎魚市場落成式典が執り行われ、楠瀬須崎市長をはじめ、濱田高知県水産振興部長、有賀中国四国防衛局企画部長及び漁業協同組合関係者らが出席しました。



須崎魚市場

本施設の整備には、防衛省の補助金制度（民生安定施設整備事業）が活用されており、高知県が補助事業者、須崎市が間接補助事業者（事業主体）となり、総事業費約12億円（うち防衛省補助金約8億円）をかけ、令和4年度から整備を進めてきました。

本施設は、鉄骨造一部二階建て、面積約二千㎡の施設で、計量器付クレーンも付帯しています。

衛生的かつ効率的な選別により、付加価値がより高い水産物の出荷等が可能となり、漁業の振興や事業経営の安定に資する事が期待されます。



式典



楠瀬須崎市長



濱田水産振興部長
(高知県知事代理)



有賀企画部長
(中国四国防衛局長代理)



テープカット

当局としては、今後とも、防衛施設周辺の住民の方々の生活環境の改善や事業経営の安定のための各種施策の実現に取り組んでまいります。



輸送艦「ようこう」命名式・進水式

令和6年11月28日、広島県尾道市に所在する内海造船株式会社瀬戸田工場において、輸送艦「ようこう」の命名式・進水式がとり行われました。

本式典には、若宮防衛大臣補佐官、小林中部方面總監、堀江防衛装備庁防衛技監、上田陸上幕僚副長、田實中国四国防衛局長、高石統合幕僚監部総務部長、今野呉地方總監部幕僚長、内海造船取締役寺尾社長ほか関係者が出席しました。

中部方面音楽隊の女性自衛官による国歌独唱ののち、若宮防衛大臣補佐官が命名書を読み上げ、「ようこう」と命名されました。その後、若宮防衛大臣補佐官が斧で支綱（しこう）を切断すると中部方面音楽隊の「陽光を背に」の吹奏のもと、「ようこう」は船台から滑り降り、見事瀬戸内の海に進水を果たしました。

今後、艦装及び海上公試を経て、海上自衛隊呉地区に新編予定の「自衛隊海上輸送群（仮称）」へ配備される予定です。



輸送艦「ようこう」



集合写真



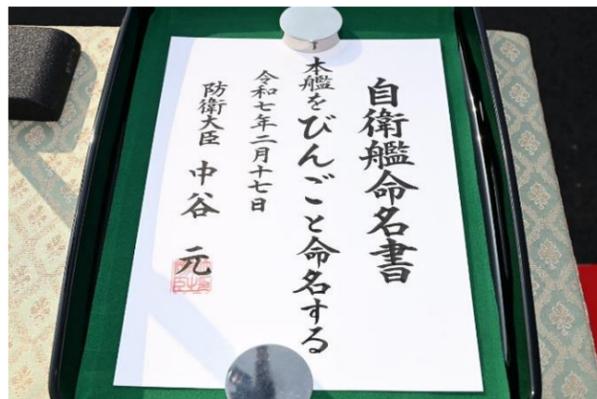
令和4年度計画音響測定艦 命名式・進水式 艦名「びんご」

令和7年2月17日、岡山県玉野市に所在する三菱重エマタイムシステムズ株式会社玉野本社工場において、中国四国防衛局玉野防衛事務所が監督・検査を担当している令和4年度計画音響測定艦「びんご」の命名式・進水式が行われました。

命名式では、防衛省代表の齋藤聡海上幕僚長が命名書を読み上げ、「びんご」と命名されました。音響測定艦は海湾の名を付与することが標準とされており、「びんご」は瀬戸内海の備後灘に由来しています。

引き続き、進水式では、齋藤海上幕僚長が鎚を斧に向けて振り下ろし、支綱（しこう）の切断を行いました。呉音楽隊の奏でる軍艦マーチの中、「びんご」は進水しました。

「びんご」は令和8年就役予定となっています。中国四国防衛局玉野防衛事務所では引き続き監督・検査に万全を期して参ります。



写真提供：呉地方總監部広報室



令和6年度 若手事務官合同研修

・海上自衛隊呉地方總監部 業務説明、意見交換会



・海上自衛隊岩国航空基地 U-2 体験搭乗

・防衛省民生安定助成事業 現地見学



令和6年11月22日、25日に海上自衛隊呉地方總監部及び海上自衛隊岩国航空基地において、令和6年度若手事務官合同研修を実施しました。

本研修は、当局と海上自衛隊で働いている入省3、4年目の若手事務官を対象に防衛局や各部隊の業務内容について学習し、機関同士の人材交流を円滑に行うため、業務内容などの基礎知識の付与を目的とし実施しました。

11月22日は、呉地方總監部で防衛局と海上自衛隊の業務説明を行い、午後からは各研修生同士が業務を紹介した上で、日頃の業務やそれぞれの職場の特徴について意見交換を行いました。

11月25日は、午前中は海自岩国基地から救難飛行艇U-2の体験搭乗を行い、午後からは岩国市内の防衛省民生安定助成事業により整備された施設の現地見学を行いました。

研修生からは「防衛局と部隊の業務の違いを初めて知り、機関交流も視野に入れたい」「機関交流も含め自分のキャリアについて考えるきっかけとなった」などの意見が寄せられました。



調達部若手職員による活動紹介 ～職場の魅力化とより良い施設づくりを目指して～

当局の調達部では、中国地区5県及び四国地区4県に所在する自衛隊駐屯地・基地等や在日米軍施設における様々な施設の建設工事関係の業務等を担っています。職員には若手職員も多数おり、日々、様々な経験を重ねながら「プロの技術者」を目指して頑張っております。また、業務実施に当たっては、業務の効率化・質の向上とワークライフバランスの確保の両立にも取り組んでおり、昨年からは、局内に若手職員中心のWG（ワーキンググループ）を起ち上げ、自分達で色々と議論しながら、職場の魅力化へ向けた様々な提案や活動等を行ってきているところです。

今回紹介するのは、普段、若手職員は、施設の設計から工事の監督、完成までは携っていますが、完成後、実際に自衛隊等が施設を運用しているところを、まだ、あまり見る機会が少ないので、自分達が携わった施設が実際にどう運用されているか、「岩国海洋環境試験評価サテライト」に実地見学に行ってきた際の様子です。



施設の全景



大型水槽見学



トラバーサ試乗・見学



シミュレーション装置見学

「岩国海洋環境試験評価サテライト」は、岩国市に所在し、令和3年度に完成した防衛装備庁艦艇装備研究所の施設で、国内最大の音響水槽、シミュレーション装置を保有し、多様な海洋環境条件や行動シナリオにおける試験評価や研究などわが国の水中無人機の研究拠点となっている施設です。

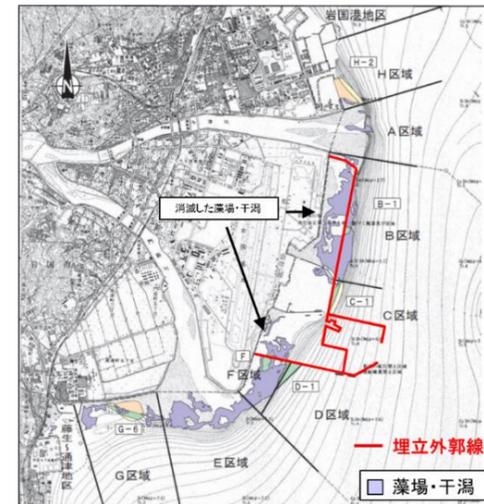
同施設を今回、若手職員等が赴き、所長や職員の方から説明を受けながら実地に見学に行きました。見学後の意見交換の場では、若手職員からは「改めて自分達の防衛局仕事に誇りを感じることができた」、「ものづくりの楽しさだけでなく、実際に施設を使っているユーザーから、施設についての喜びの声をいただいた」、「今後は、これまでの要求された規格や基準を満足するだけの受け身型ではなく、運用のことも考慮できる対話型で業務を進めていき、より良い施設の建設工事を行いたい」などの声があがりました。誰かに喜ばれる・役に立つ、さらなるよい施設づくりに携わっていきたいとの認識を一同もつことができた有意義な機会となりました。



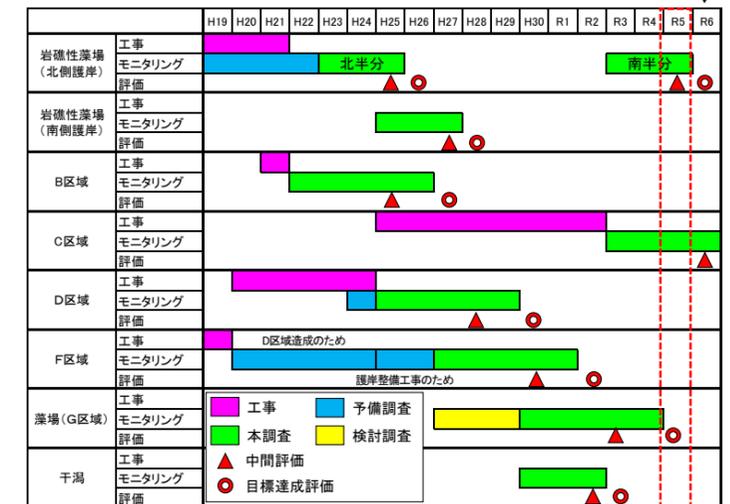
第83回 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会

令和6年11月28日、広島市内の会場にて第83回 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会を岡田委員長（広島大学名誉教授）ほか3名の委員の出席を得て開催しました。

今回の委員会では、令和6年1月から同年6月までの周辺藻場・干潟回復事業のモニタリング調査の結果を報告し、令和5年度の藻場・干潟回復事業の一年を通しての進捗状況及びモニタリング調査結果（図-2の赤点線）について審議されました。その審議において、C区域のアマモ場の株密度・被度は天然藻場と同様の変動を示していたなどの報告を行い、承認されました。（※ 当局HPに、これまでの審議概要を掲載しています。）



【図-1】



【図-2】

本委員会の審議内容

- ◇ モニタリング調査、試験の実施計画の策定に関すること。
- ◇ モニタリング調査及び試験の結果の評価、研究に関すること。
- ◇ 回復場所（工事も含む）、範囲及び時期に関すること。
- ◇ 埋立の実施に際し残存する藻場・干潟の保全に関すること。

委員会経緯

当局は、岩国飛行場の運用、安全及び騒音上の問題を解決し、米軍の駐留を円滑にするとともに、同飛行場の安定的使用を図るため、滑走路を沖合へ1,000m程度移設する岩国飛行場滑走路移設事業を推進することとなりました。これに伴い、海面の埋立事業を行うための滑走路移設事業の承認にあたって、山口県知事から「本埋立事業の実施により、藻場及び干潟が一部消滅することから、専門家の指導、助言を得て、本埋立計画地周辺海域において、最大限、新たに藻場及び干潟の造成に努めるとともに、藻の定着状況及び干潟の形成状況を計画的に監視する等により極力維持に努めること。」との意見が出されました。

これを受け滑走路移設事業の実施に伴う藻場・干潟の回復措置の対策に必要な指導・助言を行うことを目的として、有識者で構成された岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会が平成8年8月に設置されました。



令和6年度 中国四国防衛施設地方審議会



中国四国防衛施設地方審議会委員
神津 会長



中国四国防衛局
田實 局長

令和6年12月12日、広島合同庁舎（広島県広島市）において、中国四国防衛施設地方審議会が開催され、神津直会長（中国化薬株式会社 代表取締役社長）ほか大宅富美江委員（広島行政書士会 苦情処理センター長）、永山博之委員（広島大学 法学部長）、箕輪幸人委員（株式会社テレビ新広島 代表取締役社長）、長久明日香委員（広島大学 准教授）、高木孝夫委員（広島県森林協会 常務理事）、及川寛委員（水産技術研究所 廿日市拠点長）と、田實中国四国防衛局長ほか同局の幹部職員が出席しました。

審議会において、有賀企画部長から、「岩国飛行場に係る第5空母航空団の配備機種更新」についてご説明し、その後、各委員から関連なご質問や貴重なご意見を賜ることができました。



当日午後、各委員は海上自衛隊岩国航空基地を訪問し、石川海上自衛隊第31航空群司令と懇談された後、概況説明を受けるとともにフライトシミュレータを体験し、航空機の見学を行いました。

今回の視察を通じ、当該基地の任務や現状について、各委員の皆様の理解を深めていただきました。



（写真提供：海上自衛隊）



（写真提供：海上自衛隊）



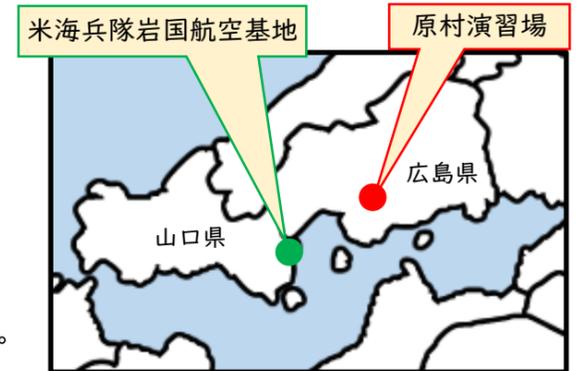
原村演習場における米軍単独訓練の実施

令和6年12月10日から16日までの7日間、広島県東広島市に所在する陸上自衛隊原村演習場において、米海兵隊岩国航空基地を拠点とし、主に飛行運用の支援を行う第171海兵航空師団支援中隊による単独訓練が実施されました。

本訓練は、平成3年8月に初めて実施されて以降、今回が55回目であり、演習場区域における一般訓練（掘削訓練、重機操縦訓練、浄水訓練等）が実施されました。

本訓練実施にあたり、当局はこれまでと同様、訓練前においては、訓練実施期間及び内容等を関係自治体等へ通知し、訓練期間中においては、職員を連絡員として現地に派遣し、米軍や自治体との調整や連絡など所要の対応を行いました。

訓練部隊は、最大限の安全確保等を行い、訓練は目的を達成し、岩国航空基地に無事に帰還しました。



重機操縦訓練



掘削訓練



中国四国防衛局 職員日記（津山防衛事務所）



津山防衛事務所 浦 友大

私は、平成31年に中国四国防衛局で採用され、これまで防音対策課の業務に携わってきました。この度、令和6年4月から、私が生まれ育った岡山県に所在する津山防衛事務所勤務することができ、大変嬉しく思っている次第です。当事務所の管轄区域である津山市や奈義町では、昨年秋に森の芸術祭が開催されて、会場の鶴山公園や奈義町現代美術館等に来場する人が多く、文化的なところなんです。私も実際に会場に赴き、芸術作品を鑑賞し、「竹の鼓動」と呼ばれる竹で作られた構造物や俳優の森山未来さんの舞台を楽しみました。

また、岡山県北は肉料理が盛んで、名物のホルモンうどんやなぎビーフも美味しいです。当事務所においては、三軒屋駐屯地（岡山市）、日本原駐屯地（奈義町）及び日本原演習場（奈義町・津山市）等の施設があり、自衛隊及び米軍の訓練に係る関係自治体等との連絡調整及び事務所内の会計や物品管理等に係る庶務業務等を行っています。知らないことや戸惑いと苦勞も多く勉強の毎日ですが、自身の成長を日々実感しています。

引き続き、業務に邁進していく所存ですので、今後ともよろしくごお願い致します。



中国四国防衛局 津山防衛事務所のご紹介



津山防衛事務所は岡山県北部の県境に位置する津山市に所在しております。岡山県全域に亘る関係自治体との中国四国防衛局各課の業務に係る地元等との連絡調整及び資料収集等の業務を行っています。

管内には主要防衛施設として、三軒屋駐屯地（岡山市）、日本原駐屯地（奈義町）、日本原演習場（津山市、奈義町）が所在しています。

津山市には、ミュージシャン稲葉浩志（B'z）、俳優オダギリジョー、お笑いタレント井口浩之・川本太（ウェストランド）など数多くの有名人を輩出しています。

その中で、B'zの稲葉さんに関係する名所（聖地）が市内には数多くあり、その一部を紹介いたします。

○お母さんが経営している化粧品店

入店した際、運がよければお母さんに会うことができ、一緒に写真撮影ができるようです。ファンには堪らないスポットとなっています。

○お兄さんが経営する和菓子屋

数多くの和菓子を製造販売していますが、なかでもイチ押しは、どら焼き178（イナバ）で、ほどよい甘さに仕上がっています。

このどら焼きは、苗字の「稲葉」にちなんで名付けられた特別な商品だそうです。



○津山駅

B'z、稲葉浩志さんのライブ看板が設置されており、数多くの方が写真撮影しています。



昨年8月には稲葉浩志さんの凱旋ソロライブが行われ、津山の街に全国から約1万7千人のファンが訪れ、会場周辺でのイベントなどを楽しみました。

その他にも「桜の名所である鶴山公園」、「ホルモンうどん」や「牛の干し肉」など美味しい食べ物が沢山ありますので、岡山県にお越しの際は、県北に足を延ばされてはいかがでしょうか。